

2018年度「栄養経営士」資格認定基礎講習 4月1日から全国で開催!

栄養経営士の輪を広げよう! 第6回「栄養経営士」資格認定試験 のエントリーもスタート

「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)は、宮澤靖代表理事の講演により栄養経営の基礎知識や栄養経営士としての姿勢を学ぶ内容で、「栄養経営士」資格認定試験の受験要件にもなっている。2017年度、基礎講習に参加したのは138人。累計受講者数は1000人を超える。2018年度は、6月10日に実施される第6回「栄養経営士」資格認定試験の受験にも対応できるように、4月1日に東京会場で基礎講習を開催することが決定した。その後、8月に大阪、仙台、東京、9月に福岡での開催が予定されている。2018年度も、栄養経営に興味を持つ多くの方々への受講をお待ちしている。

管理栄養士として

できる限りの貢献を
2018年度は、4月に診療報酬・介護報酬同時改定が行われることもあり、医療・介護政策が大きく動き出す年とされている。

宮澤代表理事は今後の流れについて、「地域医療構想により、医療機関の機能分化がより明確化していく中で、管理栄養士には所属施設の役割に応じた栄養療法を行うことが、今以上に求められている」と語り、管理栄養士自身がその職務について真剣に考え、医療介護従事者としてできる限りの貢献をすることを呼び掛けている。

栄養サポートを行い治療につなげることが、

管理栄養士の職務である」という点を核とした講義が展開される予定だ。

また、2018年度の資格認定試験は、6月10日(第6回)、11月11日(第7回)の2回を予定しており、6月実施の第6回試験については、すでにエントリーが始まっている。詳細は、当協会HPをご確認ください。

ほい基礎講習

「栄養経営士」資格認定試験に向けたファーストステップとして開催される基礎講習の2018年度の日程が決まりました。4月1日東京、8月5日大阪、8月18日仙台、8月19日東京、9月2日福岡を予定しています。

2018年度の基礎講習でも、昨年度同様、宮澤代表理事を講師に迎え、「患者や利用者



管理栄養士らが集い熱気あふれる基礎講習会場

基礎講習受講者の声

※2017年度基礎講習修了レポートより抜粋

「まだまだ、自分の机に座っているだけの栄養士が多いなかで、そうではない、利用者を診ることが本当に求められている、ということを知りにも伝えていけたらいいと思います」(札幌会場受講者)

「栄養療法に興味がある他職種と互いの知識交換をし、よりよい患者サポートへつなげられるのではないかと感じた。まず、自分が考えて動くことを目標に1年間働いていく」(東京会場受講者)

「方向性をはっきりさせることや、業務の把握と見直し、日々の臨床の見えないふりをしていた一つひとつのことを、しっかり見て考え、実行に移すことからまず始めていきたいです」(東京会場受講者)

「今回の講習で、日頃考えていたことが正しかった、または間違っていたと確認することができ、自信がつかない、今後の方向性が少し見えるようになって安心した。これから頑張っていきたいと思う」(名古屋会場受講者)

「なんとなくで病院の管理栄養士になってしまった私ですが、『患者のために何をすべきか』を考えるきっかけができたと思います」(金沢会場受講者)

「治療効果が出せる管理栄養士に成長するためにも、委託会社との契約内容を見直し、減らせる仕事を決めて、それを中止するためのロードマップを作り、計画的に仕事を整理していこうと思います」(大阪会場受講者)

「老健で調理室の問題解決ばかりの頭になっていることに、これでいいかと思いました。自分に気合を入れるべく受講することにし、涙しそうなところが数回ありました。自信を持っていい、知識をつけていけばいい、環境は与えられるものではなく作っていくもの。本当に感動しました」(福岡会場受講者)

「納得していない仕事をしている自分に気付き、どのように幹部の人たちを納得させたらよいかわからなかったことが、宮澤先生の講演でわかりました」(福岡会場受講者)

「栄養経営士」資格認定基礎講習

資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講も可能!
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

【こんな方におすすめ】

- ・DVD受講だったので、会場受講をしてみたい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

講習内容

- オリエンテーション。
「栄養経営士」に必要な能力について
1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
 2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
 3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
 4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
 5. 適材適所の組織マネジメント
 6. 病能の把握能力

- 講師：宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料(会場、DVDとも)：8,000円(税込)
- 時間：10:00~17:00(予定)

2018年度 日程決定!

会場	日程
東京	4月1日(日)
大阪	8月5日(日)
仙台	8月18日(土)
東京	8月19日(日)
福岡	9月2日(日)

支部NEWS

九州支部

関東支部

【九州支部】

「在宅医療」「チーム医療」で管理栄養士に何が求められるのか

在宅訪問管理栄養士、回復期リハ等の講師を迎えて研究会を開催

2月10日(土)、九州支部研究会が福岡市内で開催され「在宅医療」や「チーム医療」に関して、それぞれ講師を迎えて講演が行われた。各講演後のディスカッションでは現場で抱える課題についての質問があり、参加者同士で意見を出し合い解決法を模索した。

管理栄養士は医療と介護をつなぐ役割

まず「在宅医療に求められる管理栄養士の現場力と課題」と題して、医療法人にのさかクリニック管理栄養士で在宅訪問管理栄養士の小淵智子氏が講演。小淵氏は「在宅訪問管理栄養士の認定者は、全国で700人に満たない。医療者、家族ともに、管理栄養士ができる仕事を知らない。管理栄養士自身がアピールできていないことが問題ではないか」と提起した。

そのうえで「在宅医療での管理栄養士は、患者



「積極的にチーム医療に参加を」と呼びかける小淵氏

さんに食べる幸せを伝えるため、おいしい料理を作る役割がある。治療食から介護食、緩和食を含めた栄養指導も重要。さらに、医療職と介護職とともに患者さんや家族のことを考え、医療職と介護職をつなぐ役割もある」と指摘。「患者や各家庭に合った工夫や適応力を発揮し、管理栄養士ができることをアピールし、積極的にチーム医療に参画してほしい」と訴えた。

参加者から出た「在宅栄養部門を立ち上げたが、医師や多職種への理解が薄い」という悩みに対し、小淵氏は「顔を合わせ、栄養士の仕事を理解してもらう機会を設けてほしい。カンファレンスやミーティングなど、いろいろな場面に顔を出してほしい」と勧めていた。

目標達成に必要なのは「自分を信じること」

一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院法人本部のリハビリテーション推進室長／栄養管理室長の西岡心太氏は「回復期リハ病棟におけるチーム医療の在り方とこれからの管理栄養士の役割」と題して講演。

西岡氏は、2018年度診療報酬改定における回復期リハ病棟関連の動向を解説し「回復期病棟の需要は今後も高まるが、回復期での栄養サポートの意義や役割の議論は不十分だ」と問題提起した。

また「低栄養、サルコペニアなどの患者が混在

する中、管理栄養士は患者の生活を支える視点を持ち、栄養ケアプロセスを用いて患者の状態を改善する役割がある。今後、栄養にもアウトカムが求められるようになるが、一番重要なのは患者のQOLの向上。世の中に起こる栄養問題を克服するのは、管理栄養士の使命。目標達成のために最も大切なのは『自分を信じること』だと参加者を激励した。



「自分を信じるのが最も大切」と参加者を励ます西岡氏



真剣に講演に聞き入る参加者。このあとは全員でディスカッションも

【関東支部】

心理学の視点から患者の行動変容を促す方法を学んで実践に活かす!

「糖尿病患者への食事指導から学ぶ! 行動変容につながるアプローチ法」開催

2月18日(日)、栄養経営士の関心が高い「多職種からの視点で学ぶ」をテーマに、臨床心理士の先生を招いて、関東支部研究会が開催された。

行動変容を促す前にまず「聞く」というワンクッションを

今回は講師に五十嵐友里氏(埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック臨床心理士・認定行動療法士)を招き、栄養指導で難渋する行動変容につながるコツについて、五十嵐氏ご自身の実体験を交えた話を聞きながら、グループワーク形式で学んだ。

栄養指導を必要とする糖尿病や腎臓病の患者は、食事の制限や運動の必要性についてすでに理解している場合も多く、新たに話をしようと思ってもなかなか耳を貸してくれないことも多い。

五十嵐氏は「管理栄養士さんは患者さんのことを思って『これは変えてください』『これをやめてみましょう』など、いろいろとご提案していると思います。ですが、患者さんにとってそれは、改めて『今のままではダメ』というダメ出しをされているようなもの。まずは患者さんが何に困っていて、どんな楽しみがあるのか、それを教えてもらうことから始めてください」と、行動変容の提案をする前段階でまずは「聞く」というワンクッションを入

れることが大事だと語った。

一人の“人”として尊重することで協力的な治療関係を築く

患者の声を聞き、現在起きている行動がなぜ生じ、維持されているのか。その背景を理解することで困っていることを解決し、楽しく生活してもらうための提案がしやすくなるという。そして、困っていることや楽しみがなければ行動変容につながるきっかけをつくることができず、行動変容を実行した際の結果としての満足感や達成感も得にくいとのこと。

実際、多くの糖尿病患者のカウンセリングを行ってきた五十嵐氏は、生活習慣を改善しても完治はしない糖尿病を「やる気を削ぐ病気」と表現し、患者の意欲を引き出すことが非常に難しいと話す。

そこで五十嵐氏は「患者さんを一人の“人”として情報収集し、歩んできたことを教えてもらうことで、協力的な治療関

係を構築することができます。患者さんを思っでの栄養指導ですが、主役は患者さんであり、話を聞くというステップを踏んで、患者さんのスイッチが入るのを待ってみてください」とアドバイスした。

その後、3、4人のチームに分かれたグループディスカッションや質疑応答が行われ、参加者の方々は積極的に発言。参加後は「専門家の方に具体的なカウンセリング方法が聞けてよかった」「多職種からもっと学びたい」などの感想が寄せられ、栄養経営士として実践につながる手応えを感じたようだ。



グループワークでは積極的な話し合いが行われ、チームの意見を代表者が発表するシーンも

日本栄養経営実践協会 情報掲示板

セミナー情報

医療・行政連携と減塩で進める 重症化予防セミナー

2016年4月に厚労省が策定した「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」は、データヘルスと併せ、行政・保険者と医療者が連携した取り組みで透析予防(3次予防)のアウトカムを出すことを求めています。本セミナーでは、同プログラムを中心にした制度の狙いと、糖尿病重症化予防+減塩に地域ぐるみで取り組み、透析阻止のアウトカムを出している先駆エリアの事例・手法を紹介します。

- 日 程：【東京】4月8日(日)／【大阪】4月22日(日)
- 会 場：【東京】東医健保会館(東京都新宿区)
【大阪】国民會館武藤記念ホール(大阪市中央区)
- 内 容：「国家課題としての糖尿病透析予防と3次予防の減塩～医療計画・データヘルス・糖尿病性腎症重症化予防プログラム～」、「医療・行政・薬局連携で取り組む糖尿病性腎症重症化予防」ほか
- 講 師：【東京】保坂嘉之(保坂内科クリニック院長)ほか
【大阪】平井愛山(日本慢性疾患重症化予防学会代表理事)ほか
- 受講料：無料(事前申込制)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画セミナー事務局
TEL:03-3256-2885(担当:平山・原田)

セミナー情報

症例から学ぶ栄養管理講座 宮澤SCHOOL

栄養サポートの基礎から実践までしっかり学び
知識の断片をつなげて病態を総合的に診られるようになろう!

- 日 程：4月21日(土)～6月10日(日)(全6回)
- 総合監修：宮澤靖(一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事、社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部長)
- 受講料：当協会会員:5,000円/回、一般:7,000円/回
(税込) (6回セット)当協会会員:24,000円、一般:36,000円
- カリキュラム：1回目4月21日(土)13:30～18:30治療成績向上に貢献できる栄養部門の構築と運営の仕方(講師:宮澤靖)、2回目4月22日(日)9:30～16:00栄養サポートに使える検査値と画像所見の基本から応用(講師:宮澤靖)、3回目5月19日(土)13:30～18:30症例から学ぶ栄養アセスメントの基礎と実践(講師:宮島功)ほか
- 会 場：ニッテン神田ビル(旧もとみやビル)3階セミナールーム
(東京都千代田区神田東松下17番地)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画セミナー事務局
TEL:03-3256-2885(担当:平山・原田)
- HP：https://www.jmp.co.jp/seminar/restaurant/m_school/2018/

協会事務局より

2018年4月期限の会員の皆さまへ 年会費納入のご案内

本年4月に年会費の有効期限を迎える会員の皆さま、年会費納入のお手続きはお済みでしょうか? 支払期限は3月19日(月)となっておりますが、まだご対応させていただきますので、ご確認、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 対象者：有効期限が「2018年4月19日」の個人正会員、栄養経営サポーター
- 年会費：個人正会員10,000円、栄養経営サポーター8,000円
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL:03-5289-7021

学会情報

第15回日本口腔ケア学会総会・学術大会in福岡

- 日 時：4月28日(土)、29日(日)
- テーマ：多職種連携でつくる「口福社会」
- シンポジウム：「食を支える口腔ケア～周術期から在宅までの多職種連携」柏崎晴彦(九州大学大学院歯学研究院高齢者歯科学・全身管理歯科学教授)ほか、「口から食べること」に対するチームアプローチ」菊谷武(日本歯科大学大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学教授)ほか
- 会 場：福岡国際会議場(福岡市博多区)
- HP：http://www.15jsoc.com/

第3回「全国栄養経営士のつどい」in 札幌 開催間近!

開催日： **3月24日** ⊕ **栄養経営で地域をつなぐ** ～栄養経営士に求められる新たな役割～

全国の栄養経営士が一堂に会する年に1度のイベント、第3回「全国栄養経営士のつどい」in札幌の開催が、いよいよ間近に迫ってきました。当日は、2018年度診療報酬改定のポイントや、地域における多職種連携についての講演が行われるほか、4人の栄養経営士による実践報告や懇親会が予定されています。全国の栄養経営士たちと、想いを共有できる貴重な機会。多くの皆さまのご来場を、お待ちしております!

- ◆全国栄養経営士のつどい
10:30～16:40 (10:00 受付開始)
- ◆懇親会(参加費:6,000円〔税込〕)
17:00～18:50(予定)

- ◆当日参加料
日本栄養経営実践協会会員 **6,000**円(税込)
栄養経営士資格認定基礎講習修了者 **7,000**円(税込)
一般 **8,000**円(税込)

会場：ACU-A(アスティ45)16階
大研修室1614
(札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 16階)
※懇親会会場は16階 多目的ラウンジ1612となります。

詳細はウェブから <https://www.nutrition-management.jp/gathering/>